

1 人材の活用について

(1) 地域の人材活用について

磐田市ホームページには、人材活用制度が一覧で掲載されている。この目的と活用状況を伺う。また、市民に対する周知の考え方、方法を伺う。

まち美化パートナー制度など市民の参加を促すもので、この人材活用制度に登録されていないものについて、その項目と今後の取り扱いの考えを伺う。また、問い合わせ窓口が秘書政策課となっているが、ワンストップ対応の考え方について伺う。

市民の皆さんによる福祉やスポーツ、イベントなどの運営協力、各種サロンや市民講座の講師など、労働契約ではない市民の公共活動に対する謝礼の考え方についての検討が必要と考えるが認識はどうか。実費負担・有償ボランティアなども含めた考え方を伺う。

人材活用制度を拡充し、人材バンクに発展させることについて市の考えを伺う。また、市民のボランティアや協働活動への参加を促すためには、相談機能が重要と思うが認識はどうか。

(2) 市役所における人材活用について

福祉や子育てに関する市民要望は多岐に渡っている。行政の相談機能をより充実させるために、採用や人事制度上の処遇も含めた福祉・子育ての専門職育成が必要と考えるが市の認識を伺う。また、相談機能を民間の専門機関に委託することについての考えを伺う。

臨時職員として雇用した人材の育成と活用についての考え方を伺う。また、複線化など人事制度の弾力的運用を行うことで、正規職員への登用を進めることも人材の活性化に有効と考えるが、市の認識を伺う。

2 子育てと教育について

(1) 子育てについて

磐田市には多くの公園があり、市民憩いの場になっている。しかし、防犯上、子どもたちだけでは、なかなか遊べない現状もある。また一方で、公園で散歩したり、ラジオ体操をしている高齢者は増加傾向にあると思われる。こうした現状を踏まえ、子どもの遊び場と高齢者用の健康遊具などをバランスよく配置するなど、子どもと高齢者が一緒に楽しめる公園づくりについて市の考えを伺う。

(2) 教育について

教育委員会制度が変更になり約半年が経過した。取り組みの変化と現状をどのように受け止めているか伺う。また、教育委員会の見える化に向けた取り組みを伺う。

子どもたちが、将来、地元で働こうと考えるきっかけとして、小中学校においても、地域の産業構造を理解し地場産業の魅力を知ることができる現実的な教育が必要と思う。教育委員会の考えを伺う。

中学校は進路を決める重要な時期である。職業教育とあわせ、高校における勉強や学校生活を知り、進路決定の一助とすることも大切と考える。中学校における将来の就職を踏まえた進路指導及び中学校と高校との連携についての考えを伺う。

3年目となる中学生海外派遣事業の成果と課題を伺う。また、成果の共有についての現状認識を伺う。